[Form 2 (to be reported to Committee on Countermeasures for Contaminated Water Treatment and to be disclosed to public)

	Technology Information
Area	2 (Select the number from "Areas of Technologies Requested")
Title	Water Separator (CALFA "SEP)"
Submitted by	CALFA CHEMICAL CO.,LTD.

1. Overview of Technologies (features, specification, functions, owners, etc.)

Regarding with "Features", "Specification", "Functions" etc. Please see an attached PDF Catalogs.

This product has been used in many factories, office buildings to separate and remove impurities in water. (The specific gravity of radioactive materials are heavier than water) Logically thinking, It can separates HIGH contaminated water, and Lower one with only circulation for few days as same as cooling tower cases we've done for long time.

We guess, Accumulation of contaminated(radioactive) water are separate easier and faster than cooling towers case, because The concentration of contaminated water by radioactive materials that stored tanks not to increase unlike condensation of water in cooling tower. (Not "IN" "increasing", but only "OUT" "decreasing).

ALPS system would be performed more efficiency if CALFA "SEP" separates HIGH and LOW before treatment with the ALPS system as preliminary contaminated water separator.



CALFA "SEP" has wide variety line up as following. (standard model : 7)

- 2. Notes (Please provide following information if possible.)
- Technology readiness level (including cases of application, not limited to nuclear industry, time line for application)



Left: Discharged from SEP, Right: Circulation water

Case 1: (Mitsui Fudosan Co., Ltd.)



E 本	Shin Ni	hon H	Kentei Kyok	ai
	-			<u>第 K13050000572-HA-A 号</u> <u>平成 25 年 5 月 16 日</u> <u>ANA No.13-CK-0008A</u>
<u>依_頼_者</u> 株式会社クワトロ	<u>直</u> 二 殿	<u>r</u>		
試料の種類	: A:Sep 稼働前	の循環水		
試料採取場所	: 三井不動産本	社別館	クリーニングタワー	-
試料採取日時	: 平成 25 年 4 月	30日		
採取の区分	: 依頼者提供品		採取者名	· :岩室 様
計 量 日	: 平成 25 年 5 月	18日から	o平成25年5月16	日まで
特記事項	:			
外注先	: -			
下記の通りである	5事を証明します	o	一般財団法 〒108-0074 頁 工	人 新日本検定協会 東京都港区高輪3の25-23 京急第2ビ/ EL 03(349926日(45)15 二次回の回路
下記の通りである	5事を証明します	o	一般財団法 〒108-0074 頁 王 計量証明事 SK 横浜グ 〒222-0033 T <u>環境計</u> 登録	人 新日本検定協会 東京都港区高輪3の25-23 京急第2ビ/ EL 03(349)261 (業所 神奇和神知理幹第41号 分析セングラン(11) 横浜市港北外新儀器 12-13 EL 045(25)新儀器 12-13 EL 05(25) (12) 第 第 第 6813 号
下記の通りである 計量結果 No. 計	5事を証明します 量 対 象	。	一般財団法, 〒108-0074 頁 工 計量証明事 SK 横浜久 〒222-0033 T <u>環境計</u> 登録 計 量 結 果	人 新日本検定協会 東京都港区高輪3の25-23 京急第2ビ/ EL 03(349)26日代 業所 神奈加時和事業新第41号 分析センビン 横浜市進北京新儀統部 I2-13 EL 045(55)36代 正2 量士 大久保和 豪番号 第環6813号 計量方法
 下記の通りである 計量結果 No. 計 1. 浮遊物質量 	5事を証明します 量 対 象 :	。 単位 mg/l	一般財団法 〒108-0074 頁 工 計量証明事 SK 横浜分 〒222-0033 T <u>環境計</u> 登録 計 量 結 果 45	人 新日本検定協会 東京都港区高輪3の25-23 京急第2ビ/ EL 03(3499261) 業所 神奇(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(
下記の通りである 計量結果 No. 計 1. 浮遊物質量	5事を証明します 量 対 象	。 単位 mg/l	一般財団法 〒108-0074 頁 工 計量証明事 SK 横浜分 〒222-0033 T <u>環境計</u> 登録 計 量 結 果 45	人 新日本検定協会 東部港区高輪3の25-23 京急第2ビ/ EL 03(349)261 業所 地奇和時知事新第41号 分析センドでの時間 横浜町時北茶新機器3[12-13 EL 045 量士 大久保和美 家番号 第環6813号 計量方法 JIS K 0102 14.1
下記の通りである 計量結果 No. 計 1. 浮遊物質量	5事を証明します 量 対 象 :	。 単位 mg/l	一般財団法 〒108-0074 頁 工 計量証明事 SK 横浜分 〒222-0033 T <u>環境計</u> 登録 計 量 結 果 45	人 新日本検定協会 東部港区高輪3の25-23 京急第2ビ/ EL 03(349)261 業所 地奇和特和単純第41号 分析センドで、 横浜町世紀茶新機器 12-13 EL 045 (2)3(349)261 (1)3(349)261
下記の通りである 計 量 結 果 No. 計 1. 浮遊物質量 	5事を証明します 量 対 象 :	。 単位 mg/l	一般財団法 〒108-0074 第 工 計量証明事 SK 横浜分 〒222-0033 T <u>環境計</u> 登録 計 量 結 果 45	人 新日本検定協会 東部港区高輪3の25-23 京急第2ビ/ EL 03(349)261 業所 地奇和神和単純第41号 分析センドでの時間 横浜町世紀茶新機器 12-13 EL 045 聖社 大久保和美 家番号 第環6813号 計量方法 JIS K 0102 14.1

1

1

第 K13050000572-HA	-B 号
平成25年5月16	日
ANA No.13-CK-00	08B

計量 証明書

Shin Nihon Kentei Kyokai _

<u>依 頼 者</u> 株式会社クワトロ 殿

本

試料の種類: B:Sep稼働後の循環水

試料採取場所: 三井不動産本社別館 クリーニングタワー

試料採取日時: 平成25年5月7日

 採取の区分:依頼者提供品
 採取者名:岩室様

計量日: 平成25年5月8日から平成25年5月16日まで

 特記事項:一

 外注先:一

上記供試品について計量結果は 下記の通りである事を証明します。

一般财団法人 新日本檢定協会
〒108-0074 東京都港区高輪3の25-23 京急第2ビル
TEL 03(6449)26H(23)5
計量証明事業所 神奈加熱知事發緑第 41 号
SK横浜分析センタ音く民国
〒222-0033 横浜市陸北弦新横浜高-12-13
TEL 043 WEARS TO C
環境計量士 大久保 和美名)

5

登録番号 第 環 6813 号

計量結果

-4

No.	計量対象	単位	計量結果	計量方法
1.	浮遊物質量	mg/l	14	JIS K 0102 14.1
		_		

本証明書等の内容を他へ掲載する場合は本協会の承認を必要とする。

一般財団法人 新日本検定協会 HEAD OFFICE: Keikyu No.2 Bldg., 25-23 Takanawa 3-chome, Minato-ku, Tokyo 108-0074, Japan TEL 94-2 2440-2611 EAV 91-2 2440-2626 UDI Miniference and a

	Shin I	LICENCED BY JAP	Kentei Kyo	kai
				<u>第 K13050000572-HA-C 号</u> 平成 25 年 5 月 16 日
		計量	証明	<u>ANA No.13-CK-0008C</u> 書
<u>依</u> 株式	<u>頼</u> 者 法社クワトロ 殿			
試者	斗の種類: C:Sep 稼働	後の Sep 内	濃縮水	
試彩	↓採取場所 : 三井不動産	本社別館	クリーニングタワ	·
試彩	₩採取日時: 平成25年	5月7日		
採耳	取の区分: 依頼者提供	;品	探取者:	名 :岩室 様
計	量 日: 平成25年 記 東 西 :	5月8日か	ら平成25年5月1	6日まで
外	<u>記 事 項: 一</u> 注 先: 一			
計量	1 結 果		〒222-003 <u>環境</u> 情	33 横浜市進出な新線線活12-13 TEL 045年1月11日 計量士 大久保和 録番号 第環6813号
No.	計量対象	単位	計量結果	計量方法
1.	浮遊物質量	mg/l	445	JIS K 0102 14.1
		_		

Case 2: (Kawasaki Heavy Industries Ltd.)



Left pic. : Discharged from SEP Right pic.: Cooling water from tower

Case 3: (ENERGY ADVANCE CO., LTD.)



Left pic. : Discharged from SEP Right pic. : Cooling water from Tower

Japan Food Research Laboratories		分析試験成約	責書	2	8 130751276 013年(平成:	001-01 号 25年)09月09
依 頼 者 カ 株	ルファケミカル株式 式会社 КITSエ	会社 - ンジニアリングサービ	х			
検体名 冷: ght Pic.	却塔循環冷却水		一般財団法人日本食品	方林		
2013年(平成25年)08 分析試験結果	月30日 当センターに提出	出された上記検体について分	析試験した結果は次の。	とおりて	েক.	
分析試	、 験 項 目	結果	定量下限	注	方	法
浮遊物質量		5 mg/L以下		1.1.	GFPit	124
					以	Ŀ
Japan Food Food		分析試驗品%	書書	育 2	以 第 13075127(013年 (平成:	上 2002-01 号 25年) 09月 09
food Pood Research Laboratories 依 頼 者 力 株	ルファケミカル株式 式会社 KITSエ	分析試験成約 ^{会社}	青書 ^ス	第 2	以 第 13075127(013年(平成:	上 002-01 号 25年) 09月 09
togan Feed Research Laboutories 依 頼 者 力 株 検 体 名 CAI	ルファケミカル株式 式会社 KITSエ LFA"SEP"ドレン水	分析試験成統 ^{会社} シジニアリングサービ		第 2 2 7 7 7 7	以 13075127(013年(平成:	上 002-01 号 25年)09月09
	ルファケミカル株式 式会社 KITSエ LFA "SEP" ドレン水 :月30日 当センターに提	分析試験成統 会社 シジニアリングサービ		第 2 元代々 に元代々	以 13075127(013年(平成)	上 002-01 号 25年)09月09
Japan rood Bissarch Laboratories 依頼者カ株 検体名 CAI Left Pic. 2013年(平成25年)08 分析試験結果 分析試験結果 分析試験結果	ルファケミカル株式 式会社 KITSエ LFA "SEP" ドレン水 :月30日当センターに提け 、 験 項 目	分析試験成約	責書 ス 一般期回法人 日本食品 東京都渋谷区 析試験した結果は次の 定量下限	第22 22 (元代々 とおりつ 注	以 13075127(013年(平成: 小町52番) です。 方	上 002-01 号 25年)09月09
Appan rood Research Laboratores 依頼者力、 株 検体名 CAI Left Pic. 2013年(平成25年)08 分析試験結果 分析 副 浮遊物質量	ルファケミカル株式 式会社 KITSエ LFA "SEP" ドレン水 :月30日当センターに提け 、 験 項 目	分析試験成約 会社 シジニアリングサービ 出された上記検体について分 結果 880 mg/L	責書 ス 一般財団法人 日本食品 東京都渋谷区 東京都渋谷区 定量下限	第 2 2 (元代々 とおりつ 注	以 13075127(013年(平成: です。 万 GFP法	上 002-01 号 25年)09月09 副 正 法

<image><image><image><image><image>

Case 5: (NIPPON STEEL AND SUMITOMO METAL)

An attached is the test report which was done by NIPPON STEEL AND SUMITOMO METAL using 7 kinds of polluted water from IRON factory. (please not to be disclosed to public)

- Others (referential information on patent if any) Patent Pending.